

君津中央病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の診療情報を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

研究課題名	腸管切除を伴う消化器外科緊急手術における ICG 蛍光イメージングによる血流相対値評価の有用性に関する単施設前向き観察研究 (研究倫理委員会承認番号：813)
当院の研究責任者 (所属)	進藤 博俊 (君津中央病院 外科) 須田 竜一郎 (君津中央病院 外科)
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	本研究は、腸管切除が考慮される消化器外科の緊急手術において ICG 蛍光イメージングによる相対的腸管血流評価法の信頼性と、安全性を確認することを目的としています。一次目的として、従来の主観的血流評価法と ICG 蛍光イメージングを用いた相対的血流評価法それぞれの評価者間一致率を調査します。二次目的として、腸管切除範囲の変更頻度と術後合併症の発生率を評価します。
調査データの 該当期間	研究倫理委員会承認の日 (2024 年 12 月 18 日) から3年間
研究の方法 (対象となる方)	消化器外科の緊急手術を必要とし、腸管切除の要否が判断される患者さんを対象にしています。
研究の方法 (使用する情報)	SPY-PHI の通常観察モードで、異なる評価者が肉眼所見に基づいて腸管切除の必要性とその範囲 (Visual range) を評価し、切除範囲の一致度を記録します。続いて ICG (1 バイアル (25mg) を 10ml の注射用水で希釈し、経静脈的に 0.1 ml/kg) を静脈内投与した後、SPY-PHI の ICG モードで腸管切除の必要性と範囲 (ICG range) を評価し、同様に一致度を記録します。

資料・情報の他機関 への提供	なし
個人情報の取扱い	本研究で収集されるデータはすべて匿名化され、個人情報保護法に基づき厳重に管理されます。研究成果発表の際には、個人が特定される情報が外部に出ることはありません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究は独立した医療研究として行われ、特定の資金提供や利益相反はありません。
お問い合わせ先	国保直営総合病院君津中央病院 外科 腸管切除を伴う消化器外科緊急手術における ICG 蛍光イメージングによる血流相対値評価の有用性に関する単施設前向き観察研究事務局 担当者：進藤博俊 〒292-8535 千葉県木更津市桜井 1010 Tel：0438-36-1071 Fax：0438-36-3867
備考	